



**IYEO** International Youth Exchange organization

# IYEO 大解剖

国際交流や地域おこしには興味があるけど、IYEOっていまいちよくわからぬ…そんな方のための緊急特集！

**愛知県**

4月 会員交流会 花見BBQ  
5月 総会  
6月 役員会議・中国招聘団受入れミーティング  
7月 中国招聘団受入れミーティング  
9月 國際理解教育 日本児童育成園  
(10月 中国招聘団受入れ事業延期)  
10月 岐阜県庁表敬訪問  
(H28年度内閣府事業派遣予定者)  
11月 役員会議  
1月 会員交流会  
2月 役員会議  
3月 役員会議

**岐阜県**

4月 日本・韓国親善交流事業実行委員会  
4月 日本・韓国親善交流事業実行委員会第2回  
5月 日本・韓国親善交流事業実行委員会第3回  
6月 総会・日本・韓国親善交流事業実行委員会第4回  
6月 日本・韓国親善交流事業実行委員会ローカルユース説明会  
7月 日本・韓国親善交流事業実行委員会第5回  
7月 日本・韓国親善交流事業受け入れ  
8月 伝統文化研修体験「郡上おどり」  
9月 日本・韓国親善交流事業振り返り会  
9月 新参加青年支援・説明会  
10月 知事表敬訪問、参加青年壮行会(航空機)  
1月 参加青年壮行会(船)  
2月 帰国報告会準備会  
2月 帰国報告会準備会第2回  
3月 帰国報告会、事業説明会

**平成28年度活動報告**

**震災(2011年東北と2016年熊本)の時にみんなで協力して復興活動にも取り組みました。IYEOメンバーで直接被災地に行って活動をしたり、物資を送ったり、募金活動をしたり。全国に15000人以上の会員がいるのは大きな力です。あと、海外から募金やあたたかいメッセージも届いて嬉しかったよ。**

**愛知県**

4月 28年度選考会を三重県と合同で開催  
4月 例会及び東南アジア青年の船事業実行委員会  
5月 今年度事業三重県選出青年にアドバイス会  
6月 イベント「世界と世代を地域で結ぼう!2016①」伊勢神宮月次祭参加  
7月 留学生と行く伊勢神宮伊勢神宮&奉納花火大会ツアー  
10月 学生・社会人・留学生合同BBQ  
11月 東南アジア青年の船 三重地方プログラム  
12月 事業参加者壮行会  
12月 三重-東南アジア交流事業事前合宿  
3月 事業参加者報告会

**三重県**

**Q1 IYEOって一体何？**  
International Youth Exchange Organization of Japanの略で、日本語では「日本青年国際交流機構」というよ。東京に本部があるほか、各都道府県にひとつずつ支部があるんだ。

**Q2 どんな人で構成されている？**  
内閣府の青年国際交流事業に参加した青年で構成し、会員数は約15600人。事業には約60年の歴史があり、大先輩から若者までさまざまな年齢層の会員が一緒に活動しているよ。

**Q3 どんなことをしている？**  
事業に参加した青年がその経験を生かして、社会貢献や国際交流推進に取り組んでいるんだ。その内容はっていうと…各都道府県によって多彩だから、聞いてみるといいよ！

**Q4 インターナショナルっていうくらいだから海外とのつながりもあるの？**  
この事業に参加した外国青年が、各国で同じように事後活動組織を運営していて、その数はなんと50か国にもなるんだって！それぞれの活動に招待し合ったり紹介したりすることで、刺激的でアグレッシブな組織になっていると思うな。

**IYEOの魅力**

縦(老若男女)にも横(全都道府県)にもすぐに輪が広がるところがイイ！

事業に参加するだけでなく、地域活動の受け入れもあります。どちらに参加しても、海外青年と一緒に過ごす時間が長いので、がっつりと付き合えるのが魅力！

**OB・OGからのメッセージ**

世界が近くなりました。参加後の今なら、東南アジアなら北海道や沖縄に旅行に行く感覚で行けます。ちょっと遠くの親戚に会いに行くような感覚です。行けば同期や先輩・後輩、ホストファミリーと会い、一緒にローカルなところにでんへ行ったり、観光をしたり、とても楽しいときを過ごせます。これは、旅行では味わえません。私たちはこの絆をSSEAYP FAMILYと呼びます。ちなみに、事業参加後、シンガポール、マレーシア、ラオス、ベトナム、カンボジア、フィリピン、タイ、インドネシアに出かけました！それから、改めて日本の安全さ、清潔さに気づくこともできました。海外では置き引きにあったり、トイレに困ったりすることも多かったので、日本にいるだけでは得られない視野の広がりを感じました。

**小川さんの経験**

2006 東南アジア青年の船 参加青年  
2007 旅行会社にて働き始める  
2011 航空機派遣の教育ディスカッションの補佐をし、教育分野に興味を持つ  
2012 公立中学校の非常勤講師(英語)へ転職  
2013 ラオスにて社会貢献活動(PPA)、総会(SIGA)に参加  
タイ、シンガポールの同窓会(ROB)に参加  
2014 青年海外協力隊でベトナムのフェ(2年間)  
2015 ベトナムにて総会(SIGA)に参加  
東南アジア青年の船に管理部員として乗船  
2016 現在は主婦

1

2

# 船 事業の紹介

## Ship for World Youth Leaders

1/23-3/7



9/11-9/16 (事前研修)

日本	ブラジル
ケニア	カナダ
ニュージーランド	コスタリカ
トンガ王国	エジプト・アラブ共和国
ウクライナ	斐ジー
	インド

1/25-上船

1/23-24は陸上研修



234人

男98:女136  
(社会人96:学生138)

外国青年は  
約120人

船内では3人部屋 (外国青年含む)  
ホームステイなし

### 以下のテーマについて 英語でディスカッション

平和構築のための対話型アプローチ  
ダイバーシティ推進とインクルーシブ社会の実現  
防災活動のための人材育成  
国際貢献活動/責任あるツーリズム  
青年のエンパワメント

3

# 東南アジア 青年の船

10/22-12/13

7/30-8/4(事前研修)

日本	マレーシア
ブルネイ	ミャンマー
カンボジア	フィリピン
インドネシア	シンガポール
ラオス	タイ
	ベトナム



39人

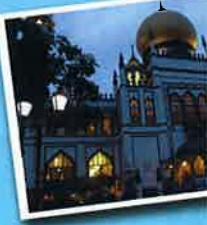
男15:女24  
(社会人16:学生21:その他2)

外国青年は  
ASEAN10か国から  
約280人

船内では3人部屋 (外国青年含む)  
すべての寄港地でホームステイ

11/4- 乗船

10/26-11/3は陸上研修



2016年の寄港地=日本、ベトナム、タイ、シンガポール、インドネシア

### 以下のテーマについて 英語でディスカッション

Youth Entrepreneurship  
Cross-cultural Understanding  
Environment  
Food and Nutrition Education  
Health Education  
International Relations  
School Education  
Information and Media



滞在先期間

ディスカッション



アピールポイント

船は、周りを見回しても海以外のものが  
何一つない、非日常。そんな閉ざされた  
空間の中で、開かれた空な国際交流が  
できる。

壮大な自然に身を置くことで、  
日常生活で繰り返していた年齢、  
国籍、性別などから解放される。  
日常携帯電話に頼って生きて  
いる私たちにとって新鮮な  
経験ができる

雄大な日の出



濃密なコミュニケーションで人の暖かさを  
ひしひしと感じた

2016年の寄港地=ニュージーランド、斐ジー

内閣府事業のうち、船に乗って交流する2つの事業を紹介します。  
海外青年との船上生活や寄港地訪問を通して、国際協調の  
精神のかん養と国際協力における実践力の向上を図ります。  
テーマに基づくディスカッションがメインプログラム  
となっています。

内容は2016年度のもので、参加国や航路などは年によって変わります

4

# 内閣府青年国際交流 航空機派遣事業 の紹介

地域課題対応人材育成事業  
地域コアリーダープログラム

グレートブリテン及び  
北アイルランド連合王国  
フィンランド共和国  
ドイツ連邦共和国

高齢者関連  
障害者関連  
青少年関連

高齢者関連、障害者関連、青少年関連分野の社会活動に携わる日本青年を3か国へ派遣し、各分野の地域社会活動において中心的担い手となる人材を育成します。訪問国では、関係機関や施設等の訪問及び意見交換、派遣分野の事情及び背景や社会活動に関する先進的な取り組みを学ぶほか、ホームステイ等による交流を行います。

参加人数 31人 (全て社会人)

高齢者関連	障害者関連	青少年関連	
団長	男性1名	男性1名	
団員	男性 5 女性 3	男性 2 女性 6	男性 7 女性 1

総計: 男 17名 / 女 10名

期間

事前研修: 6/24-26 招へいプログラム  
出発前研修: 10/7-8日 (内NPOマネージメント  
派遣期間: 10/9-18 フォーラム) 2/16-19  
帰国後研修: 10/19-20

滞在先 ホームステイあり

ディスカッション  
(英語、通訳も同席)

場を設けて行ったのはありませんが、  
派遣国のNPO団体との交流や  
ホームステイ先の方との  
意見交換は行った

参加人数

14人

(男5:女9/社会人0:学生14)



期間 9/7-10/1 (前後2日間ずつ日本で研修)

滞在先 ホームステイ(2人で1家族)

ディスカッション(英語)

ラオス国立大学の学生と環境と文化。  
資金を仮定してプロジェクトやアクションプランを考えた。

2016年度の東海青年等が参加した航空機派遣事業について紹介します。それぞれの国を訪れた青年は、ただの旅行とは違うかけがえのない経験をしました。航空機派遣のアピールポイントは、一つの国に長く滞在することで、土地の風土や環境をじっくりみて、深く知る機会に恵まれることです。



## 大韓民国

日本・韓国青年親善  
交流事業

参加人数

25人

(男3女22/社会人3学生22)

期間

8/28-9/11

滞在先

ディスカッション  
(日本人は日本語、韓国人は韓国語)  
ホームステイあり 政治・経済、社会  
教育、文化

昭和59年9月の日韓両国首脳会談における共同声明の趣旨を踏まえ、昭和62年から開始した事業で、両政府が共同で事業を実施しています。韓国に日本青年を派遣し、現地青年とのディスカッション、施設訪問、ホームステイを行います。また、日本に招へいする韓国青年と「日韓青年親善交流のつどい」に参加する機会があります。



## ラオス人民民主共和国

これらは国際青年育成交流事業=平成5年の皇太子殿下の御成婚を記念して平成6年から開始した事業であり、3か国に日本青年を派遣しています。訪問国では、現地青年との社会事情に関するディスカッション、日本文化の紹介、施設訪問、ホームステイなどを行います。また、帰国後は日本に招へいした外国青年と共に国際青年交流会議(合宿形式でのディスカッション)に参加します。



## 中華人民共和国 (日本・中国青年親善交流事業)

昭和53年に日中平和友好条約が締結されたことを記念して、昭和54年度から開始された事業で、日本・中国両政府が共同で実施しています。中国に日本青年を派遣し、現地青年とのディスカッション、文化・スポーツ交流、各種施設の訪問、ホームステイ等を行います。また、日本に招へいする中国青年と交流する機会があります。

参加人数 18人

(男5:女13/社会人2:学生16)

期間 3/7-3/18

滞在先 ホームステイ(1泊2日) ※他はホテル泊

ディスカッション(日本語、中国語、英語)

環境、少子高齢化、経済格差、学風、ボランティア活動、イノベーションと企業、日中の将来展望、伝統文化の受け継ぎと交流、想像力の育成と個人創業

## ドミニカ共和国

参加人数 14人

(男4:女10/社会人1:学生13)

期間

9/7-10/1

滞在先

ホームステイ  
ホストファミリーは  
ドミニカ共和国の青年

ディスカッション(英語)

サントドミンゴ自治大学の学生  
および現地大学生など  
テーマは文化・教育・環境で、  
グループ発表も行った。